

1 日時 令和5年5月26日(金) 10:30~16:00

2 場所 静岡市上下水道局庁舎 7階71会議室 外

3 出席者

(1) 委員(五十音順、敬称略)13人出席/13人全体

馬居委員、狩野委員、塩野委員、鈴木委員、竹内委員、橋本委員、濱田委員、
原田委員、堀住委員、安井委員、山本委員、横澤委員、横山委員

(2) 上下水道局職員

森下公営企業管理者、渡辺上下水道局長、

花村局次長兼経営管理部長、川崎経営管理部理事、星野水道部長、望月下水道部長、

小林参与兼上下水道総務課長、柴上下水道経営課長、森本上下水道危機管理課長、川口お客様サー
ビス課長、

藤田参与兼水道基盤整備課長、石野水道管路課長、稲葉水道施設課長、浅井水質管理課長、瀧戸水
道事務所長、新庄水道維持担当課長、角谷清水水道施設担当課長、山本葵北水道施設担当課長、
大石参与兼下水道計画課長、石上下水道建設課長、大石下水道維持課長、戸塚下水道施設課長、
森田参与兼下水道事務所長、山上葵・駿河浄化センター担当課長、難波清水浄化センター担当課長

(3) 協議会事務局職員

柴上下水道経営課長 外5名

4 傍聴者 報道5社

5 内容

(1) 開会・オリエンテーション

① 静岡市公営企業管理者 挨拶

【森下公営企業管理者】

公営企業として、必要最小限の費用で最良のサービスや正常で低廉な水をお客様へ提供する
必要がある。

一方、施設老朽化や燃料費のコスト上昇、台風15号被害など、経営環境は厳しくなってい
る。そのような中でも健全、持続的な経営を確保していく。そのためにも、委員の皆様から
さまざまな立場から、忌憚のない意見をお願いしたい。

② 委嘱状交付・委員紹介

※委嘱状は代表者1名にのみ手渡し

森下公営企業管理者⇒馬居委員へ

③ 会長選出

互選による⇒堀住委員(地域デザインカレッジ修了生)から

鈴木委員(龍谷大学 経営学部教授)推薦

④ 会長挨拶

【鈴木会長】

多くの委員の方ははじめてだと思う。

静岡市に限らず水道事業、下水道事業には、水道料金・下水道使用料・台風による被害などさまざまな課題がある。2年間の任期ではあるが、さまざま立場からぜひ忌憚のない意見をお願いしたい。

⑤ 副会長指名

鈴木会長⇒塩野委員（静岡経済研究所 主席研究員）指名

⑥ 上下水道局職員紹介

資料2（令和5年度 静岡市上下水道事業経営協議会 職員名簿）のとおり

公営企業管理者 退出

(2) 議事

① 協議会の目的・スケジュール等について

事務局から説明

資料3 上下水道事業経営協議会の目的

資料4 令和5年度静岡市上下水道事業経営協議会 開催スケジュール

【鈴木会長】

委員の皆さんも、どんな立場からでも、どんなご意見でも結構。

今年度は、水源検討部会もあり、来年度は次期水道料金の検討もあるので、いろいろな意見を出し私たちが検討していく必要がある。

どんなものでもよいので疑問や意見が生じたらぜひ遠慮なく意見を。

質疑・応答

なし

② 委員による事業評価（外部評価）方法について

事務局から説明

資料5：上下水道局の基本理念や政策等体系図

資料6：「委員による事業評価（外部評価）方法について

資料10：第1回経営協議会 意見記入用紙

【鈴木会長】

次回以降から、詳しく審議することになる。

③ 令和5年度 予算・事業説明

資料7（-1、-2）：令和5年度予算・事業説明および説明資料

【上下水道経営課 柴課長】

簡単に説明。

- ・水道料金は、水の対価、下水道は施設使用料のため、「料金」と「使用料」を使い分けている。
- ・下水道の雨水処理は公金、多額の繰入金が一般会計から入るため下水道事業は水道事業の倍の予算規模となる。
- ・水道料金、下水道使用料は、4年毎見返す。
水道料金が令和2年10月に14.8%値上げ、下水道使用料は昨年度見直し、4年間は改定しないことを決定した。
- ・次回は水道の令和7年度となる。改定には議会の承認が必要で、合意形成には時間がかかる。今年から議論に入る。
- ・水道料金は一般家庭モデルだと、政令指定都市平均より1割程度安い。
- ・下水道料金は他の政令指定都市平均より2割程度高い。

他都市の状況なども示しながら議論していただく。

【鈴木会長】

他都市との料金比較などは、料金改定の議論の際に、資料等提示してほしい。

質疑応答

なし

〈連絡事項（事務局）〉

- ・午後の施設見学について説明
- ・資料10は、令和5年6月6日（火）までに事務局宛て提出いただきたい。
(いずれの資料も記入は任意、提出は必須)

(3) 施設見学（バスで移動）

- ① 清水谷津浄水場・承元寺取水口
- ② 静清浄化センター

確認

静岡市上下水道事業経営協議会会長

（署名） 鈴木 学